

ナノバイオ・ナノ医療に向かう技術イノベーション ～材料、デバイスから計測まで～

Technological innovation in nanobiology and
nanomedicine: from materials, devices to measurement

日時：平成30年9月18日（火） 13:00 ～

開催場所：名古屋国際会議場

本シンポジウムは、バイオ・医療系の出口を狙う、マテリアル開発、バイオ・医療センシング、及び、先端系測・イメージングの第一線の研究者をお招きし、最新の研究動向を俯瞰することを目的としています。また一般講演も募集し、異分野に属する研究者間の交流も図ります。奮ってご参加ください。

招待講演

一木 隆範（東京大学）

「ナノ医療応用を目指した1粒子生体ナノ粒子界面の評価技術」

大澤 映二（ナノ炭素研究所）

「3nmダイヤモンドをキャリアとする癌化学療法の実状」

谷口 正輝（大阪大学）

「スマート1分子シークエンサー」

田中 裕人（情報通信研究機構）

「単細胞生物を使った化学物質識別法の構築」

田和 圭子（関西学院大学）

「フラスモニクチップを用いた増強蛍光法によるバイオ応用」

瀬藤光利（浜松医科大学）

「ナノバイオ技術による生体の計測と操作」

原田 慶恵（大阪大学）

「NVセンターの生命科学計測への応用」

福田伸子（産業技術総合研究所）

「印刷技術を用いた酸化物デバイスの形成に向けた材料・プロセス開発」

企画：応用物理学会 有機ナノ界面制御素子研究会

（NICE研究会：<https://annex.jsap.or.jp/NICE/>）

世話人：松田直樹（産総研）、馬場 暁（新潟大学）、山田俊樹

（情報通信研究機構）、三浦康弘（浜松医科大学、代表）

連絡先：yfmura@hama-med.ac.jp（三浦康弘）